

【参加者からの意見一覧】

第1回 外国人とのまちづくり懇談会 ～多文化共生のまちづくりを目指して～

①船橋市の印象

- ・都心や空港へのアクセスが良く、買い物も便利で、気候が温暖で過ごしやすい。
- ・生活に困ることはなく、1日では語り尽くせないほど船橋での生活に満足している。
- ・ガス工事会社で4年間施工管理として働いているが、職場の温かい支援やおいしい梨がある船橋に良い印象を持っている。

②市に対する要望等

《手続き関係》

- ・市内の病院で通訳の同行が必須とされるケースが多いが、電話通訳が拒否されるため、必要な医療を受けられない事態が生じている。風邪などの軽症でも同行を求められる非効率な現状を改善し、誰もが安心して暮らせる地域社会にしてほしい。
- ・市役所だけでなく、病院や学校でも簡単な日本語（やさしい日本語）で話してほしい。
- ・外国語の税金納付書が理解できず捨ててしまうケースがあるため、分かりやすい多言語翻訳で発行してほしい。
- ・今後、技能実習生の制度変更で管理団体のサポートがなくなる中、役所の書類申請について、川崎市のような受付システムを導入し、入力画面を多言語に対応させれば、通訳なしでも手続きが可能になる。

《仕事関係》

- ・職場で技能実習生らが立場の弱さから報復を恐れて反論できず、日本人のミスを押し付けられても沈黙せざるを得ない状況の改善を求めたい。
- ・物価高の中、来日直後の留学生は日本語力や授業時間の制約により、仕事探しが難航し、生活に困窮している。生活費を賄うためにも就労問題の解決が不可欠であり、市が仕事探しの支援をしてほしい。
- ・いい会社はたくさんある。大半はいい会社だが中には、要は外国人が来た

ら日本人の仕事を奪ってしまうと考える人が多いように感じる。

《生活支援関係》

- ・新しく来日した友人が連帯保証人を用意できず家を借りられないため、市役所に支援してほしい。
- ・外国人であることを理由に入居を断られ、築年数の古い物件しか選べない現状がある。さらに、古い物件であっても管理費や保証会社の費用が上乗せされるため、結果として支払う家賃が非常に高額になっているので、経済的負担が重くなる現状の改善を強く求めたい。
- ・住まいに関しては、船橋の物件の借りにくさから、学生向けの公的な「学生寮（団地活用など）」を開設してほしい。
- ・ごみに関して、学校や仕事で帰宅が 21 時頃になる住民のため、現行の夜間（遅番）収集時間を 1 時間でも遅らせるなどの柔軟な対応を求めたい。

《子育て・教育関係》

- ・子供の学校行事や、小学校へ進むまでの全体のスケジュールを分かりやすく教えてほしい。
- ・仕事を始める前に保育園に申し込めるようにし、ベトナム語などの申請書類を作してほしい。
- ・子供たちがベトナムのお祭りなどを体験して元気に集まれる場所を貸してほしい。
- ・小学校で国籍や名前を理由にいじめや仲間外れを経験した子供たちが、孤立を避けるために自身のベトナム人のルーツや名前を隠そうとする現状がある。子供たちが自分のルーツに誇りを持ち、隠さずに安心して学校生活を送れるような環境づくりや教育現場での対策を強く求めたい。

《その他》

- ・仕事をしている外国人のために、土曜日や日曜日、夜の日本語教室を増やしてほしい。
- ・専門学校生は交流の機会が乏しいため、市役所が外国人のための交流会や部活動などのコミュニティの場を設けてくれることを期待したい。
- ・実習生らが日常の調理でナンプラーなどを使う際、目の前で「臭い」と否定され傷つく場面がある。日本にも味噌や納豆など独特な香りの食文化があるように、互いの文化を否定せず理解してほしい。